

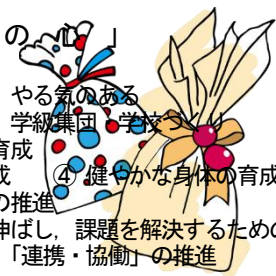
学校教育目標 社会に貢献しながら、  
自立する生徒の育成  
～気づき、考え、実行する～

# やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健康な身体力の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための「連携・協働」の推進



## 学びの実感、確かな前進

長かった2学期も、今日で終了となりました。今学期のスタートは、生徒会最大行事である、第51回若鮎祭（文化の部）への取り組みから始まりました。一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間と支え合いながら、心を込めて舞台をつくり上げた姿は、本当に見事でした。小規模校ならではの「全員が主役」という良さが随所に表れ、新たな伝統を築いてくれました。その後の様々な行事にも、真剣に向き合い、経験を確かな成長へとつなげてくれたことを誇りに思います。

冬至を迎え、これから少しずつ日が長くなっていきますが、冬の寒さはこれからが本番です。道志の冬は厳しいものがあります。しかし、厳しい季節を越えてこそ、春の芽吹きは一層力強く、美しく感じられるものです。生徒の皆さんにも、この冬を「次の成長への準備期間」として大切に過ごしてほしいと思います。

1・2年生は、三者懇談（教育相談）での話し合いや通信表、そして2学期の振り返りをもとに、冬休みには教科の復習や課題に計画的に取り組ましましょう。3年生は、いよいよ進路決定に向けた大詰めの時期です。書類作成や面接・作文の準備など、やるべきことは多いですが、努力は必ず自信につながります。焦らず、一歩ずつ取り組んでいきましょう。

いずれにせよ、これからさらに成長していくためには、この冬休みの過ごし方がとても重要です。自然豊かな環境の中で、心と体を整えながら、規則正しい生活を心がけ、健康で安全に過ごしてください。どうか、価値ある有意義な冬休みにしてほしいと思います。

**何も咲かない寒い日は  
下へ下へと根を伸ばせ  
やがて大きな花が咲く**

この言葉は、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト・高橋尚子さんが、高校時代の恩師から贈られ、座右の銘として大切にされてきたものです。もとは、三洋電機副社長・故後藤清一さんの言葉だといわれています。

「諦めずに努力を続けていれば、いつか花は咲く」  
道志の大地にしっかり根を張る木々のように、見え

ないところで力を蓄える時間こそ、未来を形づくる大切な時です。「未来」につながる「いま・このとき」を大切にしながら、一歩ずつ努力を積み重ねていきましょう。

## ともに見つめる子どもたちの成長

4月から9か月が過ぎようとしています。これまで教育活動を進めてこられましたこと、心より感謝申し上げます。道志中は、地域の皆様の温かいまなざしと支えがあってこそ、子どもたちが安心して学び、挑戦できる学校です。日頃からのご理解とご協力に、改めて深く感謝申し上げます。

今学期も、子どもたちは、日々の学校生活、行事、部活動など、多くの経験を通して大きく成長することができました。少人数だからこそ、一人ひとりの努力や変化がよく見え、その成長を共に喜べることを嬉しく思います。保護者の皆様、地域の皆様の支えが、子どもたちの背中を力強く押してくださっています。

明日から冬休みに入ります。この期間、生徒たちは家庭や地域で過ごす時間が多くなります。どうか、生徒たちが健康で有意義に過ごせるよう、見守りとお声かけをお願いいたします。

冬休みは、年末年始をはさみ、日本の伝統的な行事が続く時期です。親戚や知人が訪れる機会も増えることでしょう。だからこそ、あいさつや礼儀を身につける良い機会でもあります。「冬休みの過ごし方」については、配付した文書をご確認ください。

2学期の終了にあたり、皆様が心安らかに新しい年を迎えられることをお祈り申し上げます。

- ◆ 通信表等を使って、頑張ったお子様に、温かい励ましをお願いします。
- ◆ 学校での様子や将来について、じっくりお子様と話し合いをしてください。
- ◆ 健康診断の結果を受け、治療等をお願いします。
- ◆ 感染症の同時流行が懸念されています。感染対策の徹底、継続をお願いします。
- ◆ 何か問題や事故が発生した場合、連絡をお願いします。なお、年末年始（12月27日～1月4日）は、学校閉庁日となります。